



広島大学ダイバーシティ&インクルージョン推進機構設置記念式典 記念講演会
広島大学・国立特別支援教育総合研究所共同シンポジウム

ダイバーシティ&インクルージョンから築く ウェルビーイングの未来

～人間の幸福と持続可能な成長を実現できる共生社会の形成に向けて～

2024年3月24日(日)

12:30(開場12:00)～16:00(閉場16:30)

会場：広島国際会議場 ひまわり (広島市中区中島町1-5)
主催：広島大学ダイバーシティ&インクルージョン推進機構
共催：独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所
後援：文部科学省・広島県教育委員会・広島市教育委員会・東広島市教育委員会・中国新聞社・NHK広島放送局・中国放送・広島テレビ放送・広島ホームテレビ・テレビ新広島・広島FM放送・ウェルビーイング学会・広島県ユネスコ連絡協議会・日本生命財団

開催趣旨：ウェルビーイングの概念は、従来の成長指標を超え、主観的な幸福や社会的な結束を重視する新たなパラダイムへの移行が求められています。このシンポジウムでは、国内外でウェルビーイングに関する教育・研究に携わる専門家が集結し、日本が持続可能な成長を実現し、多様性を認め合い、より豊かで調和のとれた社会を構築するための在り方について、ウェルビーイングの概念を中心に議論し、新たなアイデアと取り組みを共有・模索します。

プログラム

I. 広島大学ダイバーシティ&インクルージョン推進機構設置記念式典 12:30～12:55

挨拶 越智 光夫 学長

来賓挨拶 中村 信一 国立特別支援教育総合研究所理事長

機構紹介 鈴木由美子 機構長

閉会挨拶 石田 洋子 副機構長

II. 広島大学ダイバーシティ&インクルージョン推進機構設置記念講演会 12:55～13:50

講師 Dr. K. Vish Viswanath ハーバード大学 教授

III. 広島大学・国立特別支援教育総合研究所共同シンポジウム 14:00～16:00

挨拶 中村 信一 国立特別支援教育総合研究所理事長

来賓挨拶 石田 善顕 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課長

シンポジスト

K. Vish Viswanath ハーバード大学 教授

Antti M. Kauppinen ヘルシンキ大学 教授

棟方 哲弥 国立特別支援教育総合研究所 上席総括研究員

Joe Hironaka タイ・バンコクユネスコ地域事務局アドバイザー

保井 俊之 叡啓大学 教授

参加費
無料

手話通訳

日英
同時通訳

参加対象：ウェルビーイングに関心を持つ企業経営者・
企業家・研究者・政府関係者・一般市民

定員：400名(先着順)

お申し込み： **要事前申込**

事前登録者には、3月23日～25日の間
広島平和記念資料館への入場が無料となる
ご案内をします。(開館時間8:30-18:00)

申込方法

右記ウェブサイトからお申込みください。
(申込締切：2024年3月15日(金))
※座席に限りがあるため定員になり次第
申込終了となる場合があります。
お申込 URL : <https://forms.office.com/r/QcpntE1Sti>



お問い合わせ：d-and-i-event@hiroshima-u.ac.jp



K. Vish Viswanath

(ハーバード大学 T・H・チャン公衆衛生大学院 教授)

ハーバード・T・H・チャン公衆衛生大学院 (HSPH) の社会・行動科学科およびダナ・ファーマーがん研究所 (DFCI) のマクグロー・パターソン人口科学センターでヘルスコミュニケーションの教授を務める。また、ダナ・ファーマー・ハーバードがん研究所 (DF/HCC) のヘルス・コミュニケーション・コアの主任教員でもある。その他、トランスレーショナル・コミュニケーション科学センター長、ハーバード・チャン・インド研究所長、ハーバード・チャン・健康幸福センター長など管理職および科学的指導職を歴任している。また、ダナ・ファーマー・ハーバードがん研究所の「健康のためのコミュニケーション向上研究室 (ECHO)」創設時の室長でもある。



Antti M. Kauppinen

(ヘルシンキ大学 社会科学部 教授)

ヘルシンキ大学 (フィンランド) 教授。専門は実践哲学。ウェルビーイング、道徳感情、責任、平等、信念の倫理など、倫理学と認識論の幅広い問題に取り組む。現在、Kone Foundation のプロジェクトである「The Many Faces of Inquiry and the Helsinki Inequality Initiative」(INEQ) に参加。また、『哲学と現象学研究』の編集者でもある。



棟方 哲弥 (むねかた てつや)

(独立行政法人国立特別支援教育総合研究所発達障害教育推進センター 上席総括研究員)

平成2年1月国立特殊教育総合研究所 (国立特別支援教育総合研究所の前身) 教育工学研究部教育工学研究室研究員に採用される。その後、主任研究官、教育工学研究室長、総括研究員等を経て平成27年4月上席総括研究員、令和4年4月から現職。この間、米国 Vanderbilt 大学、仏国教育省特別教育研究研修センター (CNEFASES) 客員研究員。専門は教育工学と国際比較。現在、文部科学省委託事業「生涯学習を通じた共生社会の実現に関する調査研究」有識者委員など。



Joe Hironaka

(タイ・バンコク ユネスコ地域事務局 コミュニケーション&インフォメーション担当アドバイザー)

タイ・バンコクのユネスコ地域事務局の地域アドバイザー兼コミュニケーション&インフォメーション (CI) の主担当者。CI ユニットでは、オープン教材、メディア開発、表現の自由、ジャーナリストの安全、記録保存、先住民言語の保護、AI とデジタルイノベーション・トランスフォーメーション、メディアと情報リテラシー、普遍的情報アクセスに関する政策と能力開発の支援を行っている。これまで、ユネスコ・ハノイ事務所の自然科学プログラム・コーディネーター (2014-16年)、ユネスコ・パリ本部の紛争後災害後プログラムコーディネーター (2008-2014年)、ユネスコ・ニューヨーク事務所のリエゾン・オフィサー (2002-2008年) を務めた。ハーバード大学卒業 (優等学士)、ジョージ・ワシントン大学高等国際関係大学院修了 (修士)。



保井 俊之 (やすい としゆき)

(広島県公立大学法人 観啓大学 ソーシャルシステムデザイン学部 学部長・教授
兼 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科特別招聘教授)

1985年東京大学卒、財務省及び金融庁等の主要ポストを経て、官民ファンド REVIC 常務取締役、国際金融機関 IDB の日本ほか5か国代表理事等を歴任。2021年に開学した広島県公立大学法人・観啓大学の唯一の学部の初代学部長・教授に就任。国際基督教大学より博士号 (学術)。米国 PMI 認定 PMP、地域活性学会副会長、PMI 日本支部理事、ウェルビーイング学会監事、日本創造学会評議員。広島県生涯学習審議会委員。専門は社会システムデザイン、社会イノベーション、金融・通貨、ウェルビーイング。ウェルビーイングとおカネ、ウェルビーイングとテクノロジーを主要な研究テーマとして追究。